

第383回 難研セミナー

下記により難研セミナーを開催しますので、多数御来聴下さい。

記

日 時：平成19年4月10日（火） 17:00～18:30

場 所： 難治疾患研究所 [駿河台地区] 2階セミナー室

演 者： 今井 由美子 博士（オーストリア分子生物学研究所）

演 題： 急性呼吸不全の分子生理学的メカニズム

要 旨： 新型肺炎(SARS)やH5N1鳥インフルエンザは、急性呼吸不全、すなわち急性呼吸窮迫症候群(ARDS)による高い致死率を呈する。今までのところARDSの予後を明らかに改善させる治療薬は見つかっていない。近年のH5N1鳥インフルエンザなどの新興呼吸器感染症の流行に伴い、ARDSの病態の解明、新しい治療薬の開発が、とりわけ救急、集中治療(ICU)の分野で重要視されている。私達はマウスのICUを確立し、*in vivo*のマウスARDSモデルを用いて、angiotensin converting enzyme 2 (ACE2)のARDS/SARSの病態における役割、またH5N1鳥インフルエンザの致死性に関与している新規のpathwayを見出したので、これらを中心にお話したい。

連絡先： 分子病態分野 木村 彰方 (内線 97-8056)

発生再生生物学分野 仁科 博史 (内線 7-4659)